

GOING NOW

A Michael Winterbottom Film

Robert Carlyle

Juliet Aubrey

愛する勇気をください。生きる勇気をあげる。

ロバート・カーライル／ジュリエット・オーブリー／ジェームス・ネスビット／ソフィー・オコネット／トリッキー
監督＝マイケル・ウィンターボトム 脚本＝ポール・ヘンリー・パウエル／ジミー・マクガヴァン
撮影＝ダフ・ホブソン 編集＝トレヴァー・ウایت 挿入歌＝トリッキー／マッシュウ・アキッタ／ボーティスヘッド／ベシー・バンクス／ボブ・コーリン／フランク・カプル／ザ・スペシャルズ
1996年／イギリス映画／レポリューション・フィルムズ作品／カラー／89分 原簿＝ブリティッシュ・カウンシル 配給：シネカノン

大丈夫? カレンはまるで道ばたでつまづいた子供に笑いかけられるように、ニックを抱きしめた。二人の思いが忘れられなくなる。せつなくて、やさしくて、りりしい映画です。



サッカーと仲間たち
ニックの愛するもの

ある日、ニックはカレンに出会い、恋に落ちる
サッカー、仲間たち、そしてカレン
これ以上の幸せはないように思えた

そして、永遠に続くと思っていた・・・



★あなたの恋人は、あなたにとってどれだけ特別な存在ですか?

『ある愛の詩』(70)『マイ・ライフ』(93)『マイ・フレンド・フォー・エバー』(95)そして『GO NOW』。またひとつ、「尊い生命」をめぐる愛の名作が誕生しました。

ごく普通のふたりが愛し合う。はじめは軽い気持ちから。そしてお互いをお互いを必要とするまでに時間はかからなかった。しかし運命は突然ふたりに予期せぬ事実を告げる・・・。

脚本家の実体験をもとに作られたこの珠玉のラブ・ストーリーは、相手の苦しみをも含めた全てを受け入れることの難しさと、愛することの限りなく純粋な美しさを湛えています。そして観る人みんなの胸には、爽やかな涙の余韻と共に、愛する勇気と生きる勇気がいつまでも消えずに残ることでしょう。

★マイケル・ウィンターボトム・ブーム日本に到来!

監督は、ここ数年ヒット作を多く生み出しているイギリス映画界の中でも、ダニー・ボイルと共に「ブリティッシュ・ニュー・シネマ」の一翼として「最も将来を嘱望される若きイギリス人監督」(ルモンド紙96年12/5)と評されブームを巻き起こしているマイケル・ウィンターボトム。“不治の病”という普遍的なテーマを単なるメロドラマやドキュメンタリーに陥ることなく、冷徹な視線と温かなユーモアを独特の感覚でミックスし、“愛の力”の強さと素晴らしさを謳い上げています。

そして日本でも『日蔭のふたり』(97年8月公開)『バタフライキス』(98年春公開予定)『Welcome To Sarajevo』(98年公開予定)が続々と公開される期待の新星、ブレイク必至です!!

★『トレインスポッティング』のベグビーが!

主人公ニックには、『トレインスポッティング』(96)ですぐにブチ切れる凶暴なアル中男ベグビー役で強烈な印象を残した、現在のイギリス映画界には欠かせない個性派ロバート・カーライルが扮し、今回は明るくて誠実で繊細な役柄を演じています。ヒロインには本作品で大抜擢された期待の新鋭ジュリエット・オーブリー。爽やかで瑞々しい魅力を、画面いっぱいにふりまいています。そして脇を固める「イギリスの若手俳優たちとの見事なアンサンブルは、快活でエネルギーに溢れ、感傷的になりがちな内容にジョークを効かせて、映画にいっきとした空気を与えて」(ヴァラエティ誌 96年5/13)います。



★トリッキー、ポータイスヘッド、マッシュヴ・アタック・・・! ブリistol発、新しいブリティッシュ・ロックの魅力がいっぱい!!

タイトルにもなった「GO NOW」は、ベッシー・バンクスのR&Bの隠れた名曲で、ムーディー・ブルースが64年にとり上げ全英第1位を記録し、後にポール・マッカートニーもウィングスでカバーしています。

また映画の舞台となるブリistolは、ポータイスヘッドの登場以来ブリティッシュ・ロックの新たなシーンの発信源として注目を集めています。その中心となるのが、本作品で出演もしているトリッキーと、彼が在籍していたマッシュヴ・アタックです。彼らの曲やイギリスでも人気のボブ・マーリー、ブラック・ウルなどのレゲエのヒット曲が随所で効果的に使われ、音楽を聴いているだけでも気持ちイイ!

1996年/イギリス映画/レポリューション・フィルムズ作品/カラー/83分 後援=ブリティッシュ・カウンシル 配給=シネカノン



井上由美子さん 脚本家/「MISTY」(ギフト)

9月中旬より
感動のロードショー!!

特別鑑賞券 1500円/ペア券 2800円 絶賛発売中!

当日料金: 一般1800円/学生・会員1500円/小人・シニア1000円(税込)
劇場窓口および都内各プレイガイド、チケットセゾン、チケットぴあにてお求め下さい。

Ciné la sept
銀座 シネラセツト

JR有楽町駅中央口銀座側すぐ 03-3212-3761

連日 11:00 1:00 3:00 5:00 7:00



●自由席・各回定員入替制

「そっと涙をぬぐってください」 劇場窓口にて前売券をお買い求めの方、先着100名様に素敵なハンカチをプレゼント! 映画鑑賞時にお持ちください。(協賛: ブルーミング中西)